

○貝類漁業対策

資料 6

1. 網袋を利用したアサリ生産技術評価の内容および経過報告（予備試験）

1) 目的

三番瀬海域はアサリの冬季減耗や青潮による斃死でアサリの生産量が減少している。

このような状況下、試行で冬季に網袋を用いてアサリを保護育成したところ、生残りが高い結果が得られたことから、網袋を利用したアサリの育成技術に取り組んだ。

2) 漁業者との共同調査

○調査期間：平成 25 年 11 月～平成 26 年 3 月

○設置場所：図 1 の①～③の 3 か所

○網袋の構成

網袋：大きさ 40 cm×60 cm、目合い 4 mm、材質
ポリエチレン製

基質：容積 6 L で次の 2 パターンで実施

軽い基質 水中重量 1.5kg（カキ殻加工
固形物＋軽石）

重い基質 水中重量 3.5kg（軽石＋砂利）

アサリ：1kg（約 120 袋設置）

○設置方法

コンポーズパイプでロープを海底に固定し、固定されたロープへ万国旗状に網袋を設置。

○調査経過（3 月 7 日までの経過、生残率は 12 月の育成個数を基準に算出）

- ・生残率は場所①②では斃死が見られなかったが、場所③では調査毎に 10 数%低下した。
- ・場所①②では基質の重さの違いによる生残率に差は見られないが、場所③では重い基質の方の生残率が高かった。
- ・アサリの殻長はどの網袋もほとんど成長がみられない。

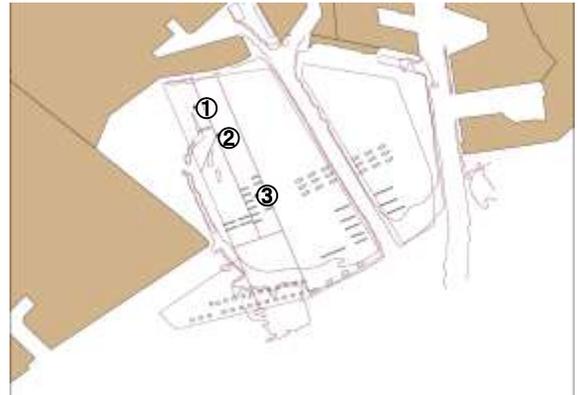


図 1 網袋の設置場所

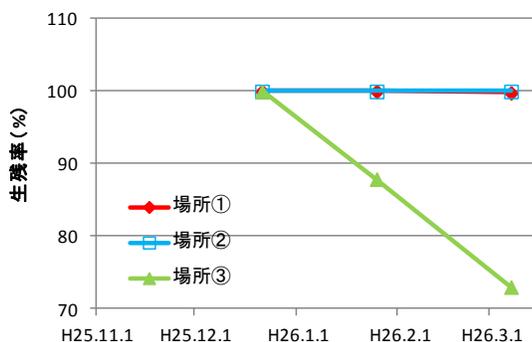


図 2 設置場所別の生残り

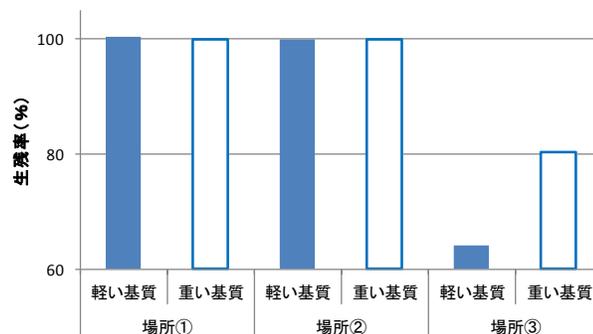


図 3 基質重量別の生残り（3 月 7 日時点）

3) 内容（全体計画：平成 26～28 年度）

育成適地の検討（平成 26 年～27 年）

育成技術の検討（平成 26 年～27 年）

最適な育成技術の評価（平成 28 年）

※漁業者との共同調査を実施（平成 25 年度）